

# 人体科学会 公開講演会

## 危惧される発達障害の増加と求められる対応 —理解と支援のあり方は？—

**講演者：坂爪一幸**

(早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

**司会者：石井 康智**

(早稲田大学文学学術院名誉教授)

発達障害が増えていると言われます。増加の原因には診断基準の変化、社会的な“受け入れ”の普及、低出生体重児の増加などが指摘されています。このような実態を知り、適切に対応することが求められています。発達障害は従来から、行動の特徴で診断され、能力の水準で判定されてきました。しかし、そのような理解だけでは適切に支援できません。発達障害は神経発生・発達上に生じた脳機能の問題です。行動や能力には脳機能という基盤があります。発達障害を子どもから大人まで一元的に理解して支援するには、行動や能力の基盤にある脳機能への視点が欠かせません。求められる発達障害の理解と支援のあり方について述べたいと思います。

- ◇日 時 2017年9月9日(土) 15:00～17:00 (14:30～受付)
- ◇会 場 早稲田大学小野記念講堂 (本部キャンパス27号館地下2階)
- ◇参加費 無料(参加自由)
- ◇交 通 1) JR山手線 高田馬場駅下車、  
都バス早大正門行終点下車、徒歩1分弱  
2) 地下鉄東西線「早稲田」下車(高田馬場寄り改札口)、  
徒歩5分

□ 共 催 □

**人 体 科 学 会**

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-1 2F Tel & fax 03-3222-5040 (火・金)

**早稲田大学総合人文科学研究センター**

(「行動・社会・文化に関する多角的アプローチ」部門)

**早稲田大学心理学会**